

【美咲町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

本町の基本目標の中にある、「自立・探究、協働・共生、創造・貢献」を目指した学びを引き続き推進する。そのためには、これまで行ってきた町の教育活動と ICT とを融合させ、課題の解決を図り、教育の質の向上につなげていくことが必要である。その上で、1人1台端末等をはじめとする ICT 環境を整備し、学びの基盤として ICT を位置付けることにより、「自ら学び、他者と学び合い、未来を拓く」子供の育成を目指す。

2. GIGA 第1期の総括

令和2年度の国の GIGA スクール構想を踏まえ、1人1台端末等を整備し、令和3年度から町内全学校の全学年において、授業や家庭学習で活用してきた。仲間と考えを共有する授業支援ソフトやデジタルドリル等を利用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進してきた。授業で1人1台端末等の活用の肯定的回答は高い傾向にある。一方で端末の持ち帰りが課題であり、授業と家庭学習をつないだり、端末を活用した家庭学習を実施する等、1人1台端末等を文房具のひとつとして家庭でも活用し、学習を進められるよう課題解決を図る。

3. 1人1台端末の利活用方策

児童生徒が日常的に活用してきた1人1台端末は、必要不可欠な「文房具のひとつ」となった。引き続き、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実等に向け、1人1台端末環境の整備を確実に行う。

(1) 1人1台端末等の更なる積極的活用

- ・教員が ICT を活用した授業実践好事例等の蓄積・情報共有を行う。またそのための修等を計画的・継続的に実施する。
- ・1人1台端末等を日常的に持ち帰り、授業支援ソフトやデジタルドリル等を授業及び家庭学習で活用する。

(2) 個別最適な学び・協働的な学びの更なる充実

- ・子供たちが自ら考え判断し、目的や場面等に合わせて ICT を最適に活用し、課題を発見・解決する力を育成する。
- ・児童生徒同士、また教員と児童生徒がやりとりするなど、人やものとの関わり合いによって学びを深める場面で、ICT 活用を基盤とした協働的な学びの更なる充実を図る。

【児童生徒が端末を週３回以上活用する学校(小４校、中３校)】

場面	現状学校回答 (R6全国調査 学校回答)	目標(R8)
児童生徒が自分で調べる場面	小４校 中２校	小４校 中３校
児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面	小２校 中３校	小３校以上 中３校
教職員と児童生徒がやりとりする場面	小２校 中３校	小３校以上 中３校
児童生徒同士がやりとりする場面	小２校 中０校	小３校以上 中３校
児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面	小２校 中１校	小３校以上 中３校

(3)学びの保障

・1人1台端末等を基盤とした学びの場の提供はもちろん、不登校や長期欠席、特別支援等、困難を抱える児童生徒に対する支援として、多面的・多角的に1人1台端末等のICTを活用する。

【1人1台端末を活用した学びの保障を行っている学校(小４校、中３校)】

支援	現状	目標(R8)
・希望する不登校児童生徒への支援	町内全学校で実施可能 担任との面談などによる支援事例有	100%
・希望する児童生徒への端末を活用した教育相談	町内全学校で実施可能 現在のところ支援事例無	
・外国人児童生徒に対する学習活動等の支援	現在外国人児童生徒の在籍が無いため支援事例無。	
・障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じた支援	100% 特別支援学級をはじめ、入院による院内学級でも支援事例有	